

項目コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考
2956	フェノバルビタール	血液 2 ↓ 血清 0.4	03	02 冷	EIA	μg/mL 10~40 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: フェノバル、 フェノバルビタール 検体 *1 測定 *2
2957	プリミドン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	02 冷	EMIT	μg/mL 5~12 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: プリミドン 測定 *2
2958	フェニトイン	血液 2 ↓ 血清 0.4	03	02 冷	EIA	μg/mL 成人・小児 10~20 新生児 8~15 経口 投与直前(トラフ) 静注 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: ヒダントール、 アレピアチン 測定 *2
2960	カルバマゼピン	血液 2 ↓ 血清 0.4	03	02 冷	EIA	μg/mL 4~12 他の抗てんかん薬併用時は4~8 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: テグレートール、 カルバマゼピン 測定 *2
2963	バルプロ酸	血液 2 ↓ 血清 0.4	03	02 冷	EIA	μg/mL 50~100 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: デパケン、バレ リン、セレニカル 測定 *2
2962	エトスクシミド	血液 2 ↓ 血清 0.4	03	02 冷	EIA	μg/mL 40~100 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: ザロンチン、エ ピレオプチマル 検体 *1 測定 *2
2966	トリメタジオン	血液 2 ↓ 血清 0.5	03	02 凍	LC-MS/MS	μg/mL 300~500 投与直前(トラフ)	[470]	4 10	参考主な商品名: ミノアレ 項目 *3 検体 *1 測定 *2
2967	クロナゼパム	血液 2 ↓ 血清 0.5	03	02 冷	LC-MS/MS	ng/mL 10~70 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名: ランドセン、リ ポトリール 検体 *1 測定 *2
2968	ニトラゼパム	血液 2 ↓ 血清 0.5	03	02 冷	LC-MS/MS	ng/mL 20~100 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名: ベンザリン、ネ ルボン 検体 *1 測定 *2
2969	ジアゼパム	血液 2 ↓ 血清 0.5	03	02 冷	LC-MS/MS	ng/mL 有効治療濃度 200~500 中毒域 1,000 以上 投与直前(トラフ)	[470]	3 5	参考主な商品名: セルシン、ホリ ゾン、ジアパックス、セレナミ ン、ダイアアップ 項目 *4 検体 *1 基準 *5 測定 *2
2965	ゾニサミド	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	02 冷	ラテックス凝集法	μg/mL 10~30 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名: エクセグラン、 トレリーフ 検体 *1 測定 *2
3225	ガバペンチン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	02 冷	LC-MS/MS	μg/mL	[470]	3 5	参考主な商品名: ガバペン 測定 *2
3149	クロバザム	血液 2 ↓ 血清 0.5	03	02 冷	LC-MS/MS	ng/mL クロバザム 30~300 デスマチルクロバザム 300~3,000 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名: マイスタン 項目 *6 測定 *2
3277	レベチラセタム	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	02 冷	LC-MS/MS	μg/mL 12~46 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名: イーケプラ 検体 *7 測定 *2
3294	ラモトリギン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	02 冷	LC-MS/MS	μg/mL 2.5~15 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名: ラミクタール 検体 *7 測定 *2

抗てんかん剤

薬毒物

- * 1 : 半減期が長い場合随時でも可能ですが、同一患者では一定時刻に採血することが推奨されています。
- * 2 : 34頁-1参照: 特定薬剤治療管理料
- * 3 : 活性代謝物であるジメタジオンを測定します。
- * 4 : ジアゼパムおよび活性代謝物であるデスマチルジアゼパムの各定量値をご報告します。
- * 5 : 有効治療濃度、中毒域は、ジアゼパムの値です。
- * 6 : クロバザムおよび活性代謝物であるデスマチルクロバザムの各定量値をご報告します。
- * 7 : EDTA血漿も検査可。

【ご注意】血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

薬毒物検査

期コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考
3266	トピラマート	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL 5~20 投与直前(トラフ)	[470]	3 ~ 4	参考主な商品名：トピナ 検体 *1 測定 *2
25722	スチリペントール	血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3 または 血液 1 ↓ 血清 0.3	14 02 03 02	冷 冷	LC-MS/MS	μg/mL	[470]	3 ~ 5	参考主な商品名：ディアコミット 測定 *2
3802	ルフィナミド	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL	[470]	3 ~ 5	参考主な商品名：イノベロン 検体 *1 測定 *2
3794	ペランパネル	血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3	14 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL	[470]	3 ~ 4	参考主な商品名：フィコンパ 測定 *2
3795		血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷					
3796	ラコサミド	血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3	14 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL	[470]	3 ~ 4	参考主な商品名：ビムパット 測定 *2
3797		血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷					
12391	ビガバトリン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL 2~36 投与直前(トラフ)	[470]	3 ~ 5	参考主な商品名：サブリル 検体 *1 測定 *2
新 13197	フェンフルラミン	血液 1 ↓ 血清 0.3 または 血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3	03 02 14 02	冷 冷	LC-MS/MS	ng/mL フェンフルラミン ノルフェンフルラミン	[470]	3 ~ 5	参考主な商品名：フィンテプラ 測定 *2
04585	クロチアゼパム	血液 3 ↓ 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ~ 6	参考主な商品名：リーゼ
04586	フルニトラゼパム	血液 3 ↓ 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ~ 6	参考主な商品名：サイレース
04606	ミダゾラム	血液 3 ↓ 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ~ 6	参考主な商品名：ドルミカム、ミ ダゾラム
04607	エスタゾラム	血液 3 ↓ 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ~ 6	参考主な商品名：ユーロジン、エ スタゾラム

* 1 : EDTA血漿も検査可。
* 2 : 34頁-1参照：特定薬剤治療管理料

[ご注意] 血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受けます)。

項目コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考	
催眠剤・抗不安剤	04687	アルプラゾラム	血液 3 ↓ 血清 1	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：コンスタン、ソラナックス
	04688	プロチゾラム	血液 3 ↓ 血清 1	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：レンドルミン、ソレントミン
	26782	エチゾラム	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：デパス
	26781	トリアゾラム	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：ハルシオン
	26779	ニメタゼパム	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	
	26780	ブロマゼパム	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：セニラン、レキソタン
	26762	ベンゾジアゼピンスクリーニング	血液 3 ↓ 血清 1	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	項目35頁-1参照：「ベンゾジアゼピンスクリーニング」検査対象薬物
	26807	バルビツール酸スクリーニング	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	μg/mL	—	6 ↓ 11	項目下-1参照：「バルビツール酸スクリーニング」検査対象薬物
	26812		尿	1	25					
	26889	ゾルピデム	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：マイスリー
	26890	ゾピクロン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 ↓ 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 ↓ 6	参考主な商品名：アモバン
	精神神経用剤	2869	リチウム	血液 2 ↓ 血清 0.5	03 ↓ 02	冷	原子吸光法	mEq/L	[470]	2 ↓ 3
2971		ハロペリドール	血液 2 ↓ 血清 0.4	03 ↓ 02	冷	EIA (CEDIA)	ng/mL	[470]	2 ↓ 3	参考主な商品名：セレネース、ハロステン 項目*3 検体*4 測定*2

薬毒物

- * 1 : ①血清リチウム濃度(早朝服薬前)が1.5mEq/Lを超えたときは臨床症状の観察を十分にいき、必要に応じて減量または休薬などの処置を行ってください。
②血清リチウム濃度(早朝服薬前)が2.0mEq/Lを超えたときは過量投与による中毒を起こすことがあるので、減量または休薬してください。
- * 2 : 34頁-1参照：特定薬剤治療管理料
- * 3 : 本検査は、ハロペリドールとプロムペリドールにほぼ同等の交差反応性を示します。したがって、2薬剤を併用している患者ではそれぞれの薬剤の正確な測定値を得ることはできません。
- * 4 : 半減期が長い場合ため随時でも可能ですが、同一患者では一定時刻に採血することが推奨されています。

1 「バルビツール酸スクリーニング」検査対象薬物

一般名	主な商品名	報告下限値
フェノバルビタール	フェノバル、フェノバルビタール、ワコビタール	0.3μg/mL
アモバルビタール	イソミタール	0.3μg/mL
ペントバルビタール	ラボナ	0.3μg/mL
セコバルビタール	アイオナール	0.3μg/mL

* 下限値未満は「検出せず」でご報告します。

【ご注意】血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

薬毒物検査

期コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考	
精神神経用剤	2972	ブロムペリドール	血液 2 血清 0.4	03 02	冷	EIA (CEDIA)	ng/mL [470]	2 3	参考主な商品名：インプロメン 項目 * 1 測定 * 2	
	12901	クロザピン	血液 1 血清 0.3	03 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL [470]	3 4	参考主な商品名：クロザリル 項目 * 3 検体 * 4 測定 * 2	
	01597	クロルプロマジン	血液 3 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL 30~350	—	4 6	参考主な商品名：コントミン、ク ロルプロマジン塩酸塩
	25515	レボメプロマジン	血液 3 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 6	参考主な商品名：レボトミン
	03233	アミトリプチリン・ ノルトリプチリン	血液 3 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL アミトリプチリン+ノルトリプチリン 80~200 ノルトリプチリンのみ 50~150	—	4 6	参考主な商品名：トリプタノー ル、ノリトレン
	03235	イミプラミン・ デシプラミン	血液 3 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 6	参考主な商品名：イミドール、ト フラニール 項目 * 5
	03201	三・四環系抗うつ薬 スクリーニング	血液 3 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL 検出せず (基準値)	—	4 6	項目頁下-1参照：「三・四環系抗 うつ薬スクリーニング」検査対 象薬物 項目 * 5
抗不整脈剤	2979	プロカインアミド	血液 1 血清 0.3	03 02	冷	HEIA	μg/mL [470]	2 3	参考主な商品名：アミサリン 測定 * 2	
	2978	ジソピラミド	血液 2 血清 0.4	03 02	冷	EIA	μg/mL [470]	2 3	参考主な商品名：リスモダン 測定 * 2 参考 * 6	

- * 1：本検査は、ハロペリドールとブロムペリドールにほぼ同等の交差反応性を示します。したがって、2薬剤を併用している患者ではそれぞれの薬剤の正確な測定値を得ることはできません。
- * 2：34頁-1参照：特定薬剤治療管理料
- * 3：クロザピンおよび活性代謝物であるデスメチルクロザピンの各定量値をご報告します。
- * 4：EDTA血漿も検査可。

* 5：ロフェプラミンを服用している場合は、代謝物としてデシプラミンが検出されます。

* 6：採血時期
カプセル：投与直前(トラフ)および投与後2~4時間(ピーク)
徐放錠：投与直前(トラフ)および投与後4~7時間(ピーク)
注射剤：投与直前(トラフ)

1 「三・四環系抗うつ薬スクリーニング」検査対象薬物

	一般名	主な商品名	報告下限値
三環系抗うつ薬	アミトリプチリン	トリプタノー	20.0 ng/mL
	ノルトリプチリン	ノリトレン	20.0 ng/mL
	イミプラミン	イミドール、トフラニール	20.0 ng/mL
	デシプラミン	(イミプラミン代謝物)	10.0 ng/mL
	トリミプラミン	スルモンチール	20.0 ng/mL
	クロミプラミン	アナフラニール	10.0 ng/mL
	ノルクロミプラミン	(クロミプラミン代謝物)	5.0 ng/mL
四環系抗うつ薬	アモキサピン	アモキサ	10.0 ng/mL
	ドスレピン	プロチアデン	20.0 ng/mL
	ミアンセリン	テトラミド	10.0 ng/mL
	セチプチリン	テシプール	5.0 ng/mL
	マプロチリン	クロンモリン、ルジオミール	10.0 ng/mL

【ご注意】血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

項目コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考
2976	リドカイン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	EMIT	μg/mL 有効治療濃度 1.5~5.0 中毒域 5.1 以上 静注 投与後2時間 点滴静注 終了後6~12時間	[470]	2 3	参考主な商品名：キシロカイン、オリベス 測定 * 2
2986	アプリンジン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL 0.25~1.25 経口 投与直前(トラフ)および 投与後2~4時間(ピーク) 静注 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名：アスペノン 測定 * 2
3249	ピルシカイニド	血液 2 ↓ ヘパリン血漿 0.5	10 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL 0.2~0.9 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名：サンリズム 測定 * 2
3273	プロパフェノン	血液 2 ↓ ヘパリン血漿 0.5	10 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL 50~1500 経口 投与直前(トラフ)	[470]	3 5	参考主な商品名：プロノン 項目 * 3,4 測定 * 2
2982	メキシレチン	血液 2 ↓ 血清 0.5	03 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL 0.5~2.0 (不整脈患者) 投与直前(トラフ)または 投与後約3時間(ピーク)	[470]	3 4	参考主な商品名：メキシチール、チルミール 測定 * 2
2999	アミオダロン	血液 2 ↓ ヘパリン血漿 0.5	10 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名：アンカロン 項目 * 5 測定 * 2
3000	ピルメノール	血液 2 ↓ ヘパリン血漿 0.5	10 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL 最小有効治療濃度 0.4	[470]	3 6	参考主な商品名：ピメノール 項目 * 6 測定 * 2
3244	シベンゾリン	血液 2 ↓ ヘパリン血漿 0.5	10 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL 70~250 朝投与前(トラフ濃度)	[470]	3 4	参考主な商品名：シベノール 測定 * 2
2985	フレカイニド	血液 2 ↓ 血清 0.5	03 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL 200~1,000	[470]	3 4	参考主な商品名：タンボコール 測定 * 2
25714	ベプリジル	血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3	14 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL 250~800	[470]	3 4	参考主な商品名：ペプリコール 測定 * 2
3320		血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷					
25715	ソタロール	血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3	14 02	冷	LC-MS/MS	μg/mL	[470]	3 6	参考主な商品名：ソタコール 測定 * 2
3321		血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷					
1270	ジゴキシン	血液 3	01	常	CLIA	ng/mL 0.8~2.0 経口 投与直前(トラフ)または 投与後6時間以降 注射剤 投与直前(トラフ)または 静注後3時間以降	[470]	1	参考主な商品名：ジゴシン 項目 * 1 測定 * 2

- * 1 : 30頁参照：緊急報告対象項目とその基準
- * 2 : 34頁-1参照：特定薬剤治療管理料
- * 3 : 有効治療濃度はプロパフェノンと5-OHプロパフェノンとの総量値です。
- * 4 : プロパフェノンおよび主代謝物である5-OHプロパフェノンの各定量値をご報告します。
- * 5 : アミオダロンおよび主代謝物であるモノデスエチルアミオダロンの各定量値をご報告します。
- * 6 : 最小有効血中濃度は0.40 μg/mL前後と推定されています。

【ご注意】血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

薬毒物検査

期コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考
気管支拡張剤	1271 テオフィリン	血液 3 ↓ 血清 0.1	01	常	CLIA	μg/mL 10.0~20.0	[470]	1	参考主な商品名：スロービッド、テオドール、テオロング、ユニフィル 項目*1,2 算定*3 参考*4
抗生剤・抗ウイルス剤	2988 ゲンタマイシン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	EMIT	μg/mL グラム陰性菌感染症に対する標準治療 ピーク 15~20 トラフ 1未満	[470]	2 3	参考主な商品名：ゲンタシン、エルタシン 算定*3 参考*5
	2989 トブラマイシン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	HEIA	μg/mL グラム陰性菌感染症に対する標準治療 ピーク 15~20 トラフ 1未満	[470]	2 3	参考主な商品名：トブラシン 算定*3 参考*5
	2990 アミカシン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	KIMS	μg/mL グラム陰性菌感染症に対する標準治療 ピーク 50~60 トラフ 4未満	[470]	2 3	参考主な商品名：アミカマイシン 算定*3 参考*5
	2991 アルベカシン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	LA (ラテックス凝集比濁法)	μg/mL ピーク 15~20 トラフ 1~2未満	[470]	2 3	参考主な商品名：ハベカシン 算定*3 参考*5
	2992 バンコマイシン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	LA (ラテックス凝集比濁法)	μg/mL 10~15 投与前30分以内(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名：塩酸バンコマイシン 算定*3
	2993 テイコプラニン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	LA (ラテックス凝集比濁法)	μg/mL 15~30 投与前30分以内(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名：タゴシッド 算定*3
	06515 ポリコナゾール	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	LC-MS/MS	μg/mL 1~2 以上 4~5 以上の場合に肝障害に注意する 投与直前(トラフ)	[470]	3 4	参考主な商品名：ブイフェンド 算定*3
解熱・鎮痛剤	2998 アセトアミノフェン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	冷	HEIA	μg/mL 中毒域 4時間後 200 以上 12時間後 50 以上	180 生I	2 3	参考主な商品名：カロナール
鎮痛剤	27038 メサドン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	5 11	参考主な商品名：メサペイン 項目*6
	26783 モルヒネ	血液 1 ↓ 血清 0.3	03	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	5 11	参考主な商品名：オプソ、パシーフ 項目*7

*1：アミノフィリン(テオフィリンエチレンジアミン)はテオフィリンを測定します。

*2：30頁参照：緊急報告対象項目とその基準

*3：34頁-1参照：特定薬剤治療管理料

*4：採血時期

速放性製剤：投与直前(トラフ)および投与後2時間(ピーク)

徐放性製剤：投与直前(トラフ)および投与後4時間(ピーク)

点滴静注：投与直前(トラフ)および投与後30分(ピーク)

持続静注：投与後4~6時間およびその後12~24時間ごと

*5：採血時期

点滴開始1時間後(30分で投与した場合は、終了30分後)(ピーク)

投与前30分以内(トラフ)

*6：メサドンおよび不活性主代謝物であるEDDPの各定量値をご報告します。

*7：モルヒネおよび代謝物であるモルヒネ-3-グルクロニド(M3G)、モルヒネ-6-グルクロニド(M6G)の各定量値をご報告します。

①：同一の患者につき1月以内に2回以上行った場合は、第1回の測定を行ったときに1回に限り算定できます。

[ご注意] 血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

期コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考	
鎮痛剤	26787 オキシコドン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	5 11	参考主な商品名：オキシコドン、オキファスト、オキノーム	
	26788 フェンタニル	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	5 11	参考主な商品名：アブストラル、イーフェンバックル	
	26789 コデイン	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	5 11		
	12392 プレガバリン	血液 1 ↓ 血清 0.3 または 血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3 または 血液 1 ↓ ヘパリン血漿 0.3	03 02 14 02 10 02	冷 冷 冷	LC-MS/MS	μg/mL	—	3 5	参考主な商品名：リリカ	
抗炎症・抗リウマチ剤	2995 サリチル酸 (アスピリン)	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	酵素法	μg/mL 抗リウマチ薬として 150~300 投与直前(トラフ)	[470]	2 3	参考主な商品名：アスピリン、ハフトロン、ヘパルス 測定 * 1	
抗ヒスタミン・抗アレルギー薬	25516 プロメタジン	血液 3 ↓ 血清 1	03 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	4 6	参考主な商品名：ヒベルナ、ピレチア	
抗パーキンソン薬	2042 L-ドーパ	血液 5 ↓ EDTA血漿 2	14 02	凍	LC-MS/MS	ng/mL	投与直前(トラフ)	—	3 5	参考主な商品名：ドパストン、ドパゾール 検体 * 2,3
抗悪性腫瘍剤	2994 メトトレキサート	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷	EIA	μmol/L 中毒域(大量投与時) 24時間後 10 以上 48時間後 1 以上 72時間後 0.1 以上 ロイコボリン救急療法時 24、48、72時間後	[470]	2 3	参考主な商品名：メソトレキサート 測定 * 1	
	25717 イマチニブ	血液 1 ↓ EDTA血漿 0.3	14 02	冷	LC-MS/MS	ng/mL	[470]	3 6	参考主な商品名：グリベック 測定 * 1	
	3323	血液 1 ↓ 血清 0.3	03 02	冷						
免疫抑制剤	2996 シクロスポリン	EDTA加血液 1	指定容器 07	冷	ECLIA	ng/mL 経口 投与直前(トラフ) 静注 投与直前(トラフ) 必要に応じて投与直後(ピーク)	[470]	2 3	参考主な商品名：ネオーラル、サンディミュン 検体 * 4 測定 * 1	
	2997 タクロリムス	EDTA加血液 1	指定容器 07	冷	ECLIA	ng/mL 5~20 経口 投与直前(トラフ) 静注 投与直前(トラフ) 必要に応じて投与直後(ピーク)	[470]	2 3	参考主な商品名：プログラフ 項目 * 5 検体 * 4 測定 * 1	
	26229 シロリムス	EDTA加血液 1	指定容器 07	冷	LC-MS/MS	ng/mL 投与直前(トラフ)	[470]	4 10	参考主な商品名：ラパリムス 検体 * 4 基準 * 6 測定 * 1	

* 1 : 34頁-1参照：特定薬剤治療管理料
 * 2 : 血清は検査不可。
 * 3 : 検体採取後、3日を越える場合は、-70℃以下で保存してください。
 * 4 : 専用採血管に規定量を採血し、必要検体量をご提出ください。
 * 5 : 有効治療濃度は、臓器移植後患者における12時間トラフ値の管理目標を示します。
 * 6 : ご参考：推奨トラフ値は5~15ng/mLです(有効治療濃度は設定されていません。推奨トラフ値はあくまでリンパ脈管筋腫症治療時の投与量の目安としてご利用ください)。

【ご注意】血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

薬毒物検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ (通心) 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	有効治療濃度 採血時期	実施料 判断料	所要 日数	備考
免疫抑制剤	25787	EDTA加血液	1	指定容器 07	冷	ECLIA	ng/mL 免疫抑制剤としてシクロスポリンと併用した場合 3~8 抗悪性腫瘍剤として使用した場合 5~15 投与直前(トラフ)	[470]	2 3 参考主な商品名：サーティカン、 アフィニートル 項目 *1 検体 *2 測定 *3
	25716	ミコフェノール酸	血液 ↓ (通心) EDTA血液	1 0.3	14 02	冷	LC-MS/MS	[470]	3 4 参考主な商品名：セルセプト 項目 *4 測定 *3
	3322		血液 ↓ (通心) 血清	1 0.3	03 02	冷			
	26204	6-チオグアニン ヌクレオチド (6-TGN)	EDTA加血液	2	13	冷 凍精	LC-MS/MS	pmol/8×10 ⁸ RBC 6-TGN 235~450 6-MMP 5,700未満 6-MMP/6-TGN 比 20未満	—
項目コード	検査項目	採取量 (mL) ↓ (通心) 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	基準値(単位)	実施料 判断料	所要 日数	備考
規制薬・農薬	乱用薬物検査 (ISO/IEC 17025認定)	尿	8	冷	EMIT(スクリーニング) LC-MS/MS(確認検査)	検出せず 36頁-1参照：「乱用薬物検査」陽性判定下限値	—	3 4	項目本検査はISO/IEC17025の国際認定を取得し、実施しています。 項目37頁-1参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 検体35頁-2参照：「乱用薬物検査」検体採取の注意点 項目 *7,8 方法 *9 日数 *10 報告 *11,12 項目37頁-1参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 項目 *8 方法 *9 日数 *10 報告 *11,12
	25752	乱用薬物 スクリーニング	尿	8					

- * 1 : シロリムス投与歴がある患者検体は検査不可。
- * 2 : 専用採血管に規定量を採血し、必要検体量をご提出ください。
- * 3 : 34頁-1参照：特定薬剤治療管理料
- * 4 : ミコフェノール酸(MPA)はミコフェノール酸モフェチルの活性代謝物です。
- * 5 : 6-TGNと6-MMP(6-メチルメルカプトプリン)の血球数換算値および6-MMP/6-TGN比をご報告します。
- * 6 : 6-TGNは有効治療濃度、6-MMP、6-MMP/6-TGN比は超えると中毒域となる値です。
- * 7 : 「乱用薬物検査(ISO/IEC 17025認定)」は報告書を海外の機関に提出する必要がある場合に限ってご依頼できます(本検査は提出の方法に制限があるため、限定されたお客様からのみ受託しています)。
- * 8 : スクリーニング検査で陰性が確定しなかった場合は、LC-MS/MSにて確認後にご報告します。
- * 9 : 検体妥当性試験を実施します(クレアチニン濃度、比重、pHおよび亜硝酸塩濃度を測定し、検査材料である尿が薬物検査に適しているか否かを確認します)。
- * 10 : 確認検査実施時の所要日数は5~6日(スクリーニング検査を含む)です。
- * 11 : 感冒薬・漢方薬などの投与によって陽性となる場合があります。
- * 12 : 一部の薬剤(セレギリンなど)の投与によって、尿中にその代謝物である覚せい剤が検出される場合があります。

[ご注意] 血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

項目コード	検査項目	採取量 (mL) <small>(濾心)</small> 提出量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	実施料 判断料	所要 日数	備考		
05794	覚せい剤検査	単独検体 開栓 尿	8	25	冷	EMIT(スクリーニング) LC-MS/MS (確認検査)	検出せず	—	3 4	項目 37頁-1 参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 項目 *1 方法 *2 日数 *3 報告 *4	
		血液 <small>(濾心)</small> 血清	1 0.3	03	凍	LC-MS/MS	ng/mL	—	5 11	項目 法中毒検査です。 報告 アンフェタミンとメタンフェタミンの各定量値をご報告します。	
05244	アヘン系麻薬検査	単独検体 開栓 尿	8	25	冷	EMIT(スクリーニング) LC-MS/MS (確認検査)	検出せず	—	3 4	項目 37頁-1 参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 項目 *1 方法 *2 日数 *3 報告 *5	
08821	コカイン系麻薬検査	単独検体 開栓 尿	8	25	冷	EMIT(スクリーニング) LC-MS/MS (確認検査)	検出せず	—	3 4	項目 37頁-1 参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 項目 *1 方法 *2 日数 *3	
08691	大麻・マリファナ検査	単独検体 開栓 尿	8	25	冷	EMIT(スクリーニング) LC-MS/MS (確認検査)	検出せず	—	3 4	項目 37頁-1 参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 項目 *1 方法 *2 日数 *3	
25778	幻覚剤検査	単独検体 開栓 尿	8	25	冷	EMIT(スクリーニング) LC-MS/MS (確認検査)	検出せず	—	3 4	項目 37頁-1 参照：規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物 項目 *1 方法 *2 日数 *3	
27365	農薬 スクリーニング	血液	ヘパリン加血液	4	10	凍	LC-MS/MS	検出せず	—	7 12	項目 36頁-2 参照：農薬分析対象薬の報告下限値および商品名要覧 農産業衛生関連検査としてご依頼の場合の基準値は、19頁-1 参照：産業衛生関連検査一覧
27388		尿	尿	4	25	凍					
01328	パラコート	血液 <small>(濾心)</small> 血清 — または — 尿	3 1 1	03 02	凍 凍	HPLC	0.1 未満	—	4 10	基準 検出限界未満を基準値とします。	

規制薬・農薬

薬毒物

- * 1 : スクリーニング検査で陰性が確定しなかった場合は、LC-MS/MSにて確認後にご報告します。
- * 2 : 検体妥当性試験を実施します(クレアチニン濃度、比重、pHおよび亜硝酸塩濃度を測定し、検査材料である尿が薬物検査に適しているか否かを確認します)。
- * 3 : 確認検査実施時の所要日数は5~6日(スクリーニング検査を含む)です。
- * 4 : 一部の薬剤(セレギリンなど)の投与によって、尿中にその代謝物である覚せい剤が検出される場合があります。
- * 5 : 感冒薬・漢方薬などの投与によって陽性となる場合があります。

[ご注意] 血中薬物検査をご依頼の際は、分離剤入り採血管は使用しないでください(測定値が分離剤の影響を受ける場合があります)。

1 特定薬剤治療管理料

弊社で扱っていない検査項目も掲載しています。

薬物名	検査項目 (算定備考上の名称)	特定薬剤治療管理料		加算点	備考
		1~3月	4月目以降		
抗てんかん剤 (てんかん)	フェノバルビタール プリミドン、フェニトイン カルバマゼピン バルプロ酸ナトリウム エトスクシמיד、トリメタジオン クロナゼパム、ニトラゼパム ジアゼパム、ゾニサミド ガバペンチン、クロバザム レベチラセタム、ラモトリギン トピラマート、スチリパントール ルフィナミド、ペランパネル ラコサミド、ピガバトリン フェンフルラミン	[単一薬剤] 470点	[単一薬剤] 470点	280点 (薬剤の投与を行った 初回月に限る)	ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合またはてんかん重積状態の患者に対して抗てんかん剤の注射などを行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り740点を算定する。 てんかん患者において2種類以上の抗てんかん剤を投与しており、同一暦月に複数の抗てんかん剤の血中濃度を測定した場合、1月に2回に限り算定できる。 数日間以上投与している入院患者について、投与薬剤の血中濃度を測定し、その測定結果をもとに投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。 バンコマイシンは1回に限り、530点を加算。 気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫または未熟児無呼吸発作
	[複数薬剤] 470点×2	[複数薬剤] 470点×2			
ジギタリス製剤 (心疾患)	ジゴキシン			235点	
アミノ配糖体抗生物質 <入院中>	ゲンタマイシン トブラマイシン アミカシン アルベカシン				
グリコペプチド系抗生物質 <入院中>	バンコマイシン テイコプラニン				
トリアゾール系抗真菌剤<入院中> (重症または難治性真菌感染症、造血幹細胞移植(深在性真菌症の予防を目的とするものに限る))	ボリコナゾール				
テオフィリン製剤 (備考参照)	テオフィリン				
不整脈用剤 (不整脈)	プロカインアミド N-アセチルプロカインアミド ジソピラミド、キニジン アプリンジン、リドカイン ビルジカイニド塩酸塩 プロパフェノン、メキシレチン フレカイニド シベンゾリンコハク酸塩 ピルメノール、アミオダロン ソタロール塩酸塩 ベアリジル塩酸塩			470点	
	ハロペリドール製剤 プロムペリドール製剤 (統合失調症)	ハロペリドール プロムペリドール			
リチウム製剤 (躁うつ病)	炭酸リチウム				
バルプロ酸ナトリウム カルバマゼピン (躁うつ病または躁病)	バルプロ酸ナトリウム カルバマゼピン			470点	
免疫抑制剤 (臓器移植後)	シクロスポリン タクロリムス水和物 エベロリムス ミコフェノール酸モフェチル	470点		2740点 (臓器移植を行った 月から3月以内)	臓器移植後の患者でミコフェノール酸モフェチルまたはエベロリムスを含む2種類以上の免疫抑制剤を投与する場合、ミコフェノール酸モフェチルは6月に1回に限り250点を、エベロリムスは初回投与を行った月を含む3月に限り月1回、4月目以降は4月に1回に限り250点を所定点数に加算する。
免疫抑制剤 (備考参照)	シクロスポリン			470点	ベーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で視力低下の恐れのある活動性の中間部または後部の非感染性ぶどう膜炎に限る)、再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者に限る)、ネフローゼ症候群、川崎病(急性期の患者)
免疫抑制剤 (備考参照)	タクロリムス水和物			280点 (薬剤の投与を行った 初回月に限る)	全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎、間質性肺炎(多発性筋炎または皮膚筋炎に合併するものに限る)
サリチル酸系製剤 (備考参照)	サリチル酸			235点	若年性関節リウマチ、リウマチ熱、慢性関節リウマチ
メトトレキサート (悪性腫瘍)	メトトレキサート				
バルプロ酸ナトリウム (片頭痛)	バルプロ酸ナトリウム				
イマチニブ	イマチニブ				
エベロリムス (結節性硬化症)	エベロリムス				
シロリムス製剤 (リンパ管腫症)	シロリムス				
スニチニブ (腎細胞癌)	スニチニブ				
治療抵抗性統合失調症治療薬 (統合失調症)	クロザピン				
ブスルファン	ブスルファン				

特定薬剤治療管理料1は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その測定結果をもとに投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
2018年度診療報酬改定により新設された特定薬剤治療管理料2(サリドマイドおよびその誘導体)については省略。

1 「ベンゾジアゼピンスクリーニング」検査対象薬物

一般名	主な商品名	報告下限値
クロナゼパム	ランドセン, リボトリール	2.0 ng/mL
ニトラゼパム	ベンザリン, ネルボン	3.0 ng/mL
ジアゼパム	セルシン, ホリゾン, ジアパックス, セレナミン	10.0 ng/mL
デスメチルジアゼパム	(ジアゼパム代謝物)	10.0 ng/mL
クロバザム	マイスタン	20.0 ng/mL
デスメチルクロバザム	(クロバザム代謝物)	50.0 ng/mL
クロチアゼパム	リーゼ	50.0 ng/mL
フルニトラゼパム	サイレース	10.0 ng/mL
ミダゾラム	ドルミカム, ミダゾラム	10.0 ng/mL
エスタゾラム	ユーロジン, エスタゾラム	50.0 ng/mL
アルプラゾラム	コンスタン, ソラナックス	40.0 ng/mL
プロチゾラム	ソレントミン, レンドルミン	20.0 ng/mL
エチゾラム	デパス	10.0 ng/mL
トリアゾラム	ハルシオン	10.0 ng/mL
ニメタゼパム	-	10.0 ng/mL
ブロマゼパム	セニラン, レキソタン	10.0 ng/mL

※下限値未満は「検出せず」でご報告します。

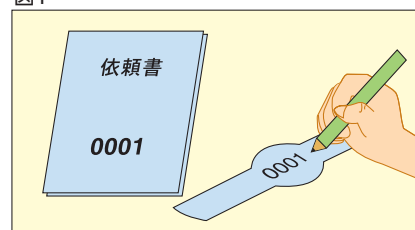
2 「乱用薬物検査」検体採取の注意点

本検査は専用の検査依頼書および検体容器を使用しますので、あらかじめ営業担当者にお申し付けください。

尿検体については、被検者本人のものであること、人為的操作を受けていないことなどを確認するため、以下の点にご注意願います。

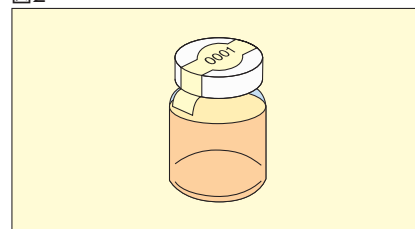
- 1) 被検者が本人であることをご確認ください。
- 2) トイレの洗浄水に洗浄剤などで色を付けるか、洗浄水を止めることを推奨します。
- 3) 専用容器に、尿を8mL以上採取してください。
- 4) トイレの洗浄水などで希釈されていないこと（洗浄水の染料混入を認めないこと）を確認してください。
- 5) 尿の温度が32～38℃（採取後4分以内）であることを確認してください。
- 6) 尿に混入物・浮遊物を認めないことを確認してください。
- 7) 「容器用封印ラベル」に規制薬物検査依頼書の「試料の識別番号」を記入してください。（図1）

図1



- 8) 容器のキャップをしっかり閉め、ゆるみがないことを確認してください。封印ラベルを貼付した後に増し閉めすることはできません。搬送中に尿が漏洩した場合、検査不能となることがあります。
- 9) 「容器用封印ラベル」中央の円形部分が容器のキャップに合うように、キャップから側面にかけて貼付してください。（図2）

図2



- 10) 依頼書に必要事項を記入の上、1枚目は検体採取者の控え、2枚目は（後日結果照合と不服申立ができるよう）被検者の控えとしてください。
- 11) 検体容器と依頼書の3～4枚目をご提出ください。

※ 検体採取手順の詳細については、別途資料をご用意しています。営業担当者にお申し付けください。

薬毒物検査

1 「乱用薬物検査」陽性判定下限値

報告対象成分 (尿)	陽性判定下限値 (ng/mL)	カットオフ値 (ng/mL)	不確かさ (ng/mL)
アンフェタミン	299	(250) +	(49)
メタンフェタミン(ヒロポン)	286	(250) +	(36)
コデイン	2,526	(2,000) +	(526)
モルヒネ	2,462	(2,000) +	(462)
6-アセチルモルヒネ	13	(10) +	(3)
コカイン	118	(100) +	(18)
ベンゾイルエクゴニン(コカイン代謝物)	122	(100) +	(22)
MDA(メチレンジオキシアンフェタミン)	294	(250) +	(44)
MDMA(メチレンジオキシメタンフェタミン)	296	(250) +	(46)
MDEA(メチレンジオキシエチルアンフェタミン)	295	(250) +	(45)
フェンシクリジン	32	(25) +	(7)
THC カルボン酸体(大麻代謝物)	20	(15) +	(5)

*ISO/IEC 17025の要求事項に従い、乱用薬物検査は既定のカットオフ値に不確かさの幅を考慮して陽性判定します。

2 農薬分析対象薬の報告下限値および商品名要覧

分類	一般名	報告下限値		主な商品名
		全血	尿	
有機リン系 農薬	スミチオン (MEP)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	スミチオン, アグロススミチオン, スミチオンMC, (スミチオン Sprey), スミパイン, スミパインMC, ガットサイドS, サッチューコート, ガットキラー, バークサイド, バインサイドS
	馬拉チオン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	マラソン, (アグロスマラソン)
	CYAP	0.01μg/mL	0.01μg/mL	サイアノックス, (アグロスサイアノックス)
	エチルチオメトン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	TD, (ダイシストン)
	EPN	0.01μg/mL	0.01μg/mL	EPN, (アグロス EPN)
	ダイアジノン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	ダイアジノン, ダイアジノンSL, アグロสดアジノン, (エキソジノン), ショットガン
	MPP	0.01μg/mL	0.01μg/mL	バイジット, (T-7.5 バイセフト), (マウント T-7.5), (ファインケム)
	メチダチオン (DMTP)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	スプラサイド
	イソキサチオン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	カルホス, (カルホスエアゾール), (カルホスペイト), カルモック, (ネキリトンK)
	ピリミホスメチル	0.01μg/mL	0.01μg/mL	アクテリック
	DDVP	0.01μg/mL	0.01μg/mL	(DDVP, アグロス DDVP, デス, ホスピット, ホスピットジェット, サンズモークVP, VPスモーク, ジェットVP, パナプレート, 殺虫プレート, パボナ殺虫剤, ラビック)
	トリクロルフォン (DEP)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	ディプテレックス, (アグロスディプテレックス), (ネキリトン)
トリアジン系 農薬	メトリブジン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	センコル
	シマジン (CAT)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	シマジン, シマジンフロアブル
カーバメイト系 農薬	フェノブカルブ (BPMC)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	バッサ, (アグロスバッサ), ミミダス
	カルバリル (NAC)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	デナポン, デナポン5%ベイト, ミクロデナポン, (セビモール), (セビン)
	メソミル	0.20μg/mL	0.30μg/mL	(ランネット45), ランネット45DF
アニリン系 農薬	アラクロール	0.01μg/mL	0.01μg/mL	ラッソー, ハブーン, (ハブーンフロアブル)
	プロパニル (DCPA)	0.01μg/mL	0.01μg/mL	(DCPA), (スタム), (スタムDF)
ピレスロイド剤	フェンバレート	0.01μg/mL	0.01μg/mL	(スミサイジン)
	シペルメトリン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	アグロスリン, (アグロスアグロスリン), ゲットアウトWDG
	ペルメトリン	0.01μg/mL	0.01μg/mL	キンチョールE, (サンフラパーA), ガーデンアースA, ガーデンアースB, アディオン, (アグロスアディオン), カダンV, (キックパールAL), ベジタメートAL, ガードベイトA, エンパーMC, (リブレースMC), アディオンフロアブル
ピリリウム系農薬	パラコート*		(グラモキソンS)	

【ご注意】

商品名は、2019年1月末現在の登録農薬を基に記載しています。なお、複数成分の合剤については、割愛しました。
“() ” は、現在登録が失効し、商品は販売されていません。

*パラコートは農薬スクリーニングの分析対象に含まれていません。
別途 [01328] パラコートをご依頼ください。

1 規制薬・医薬品などスクリーニング検査対象薬物

		乱用薬物スクリーニング	乱用薬物検査	覚せい剤検査	アヘン系麻薬検査	コカイン系麻薬検査	大麻・マリファナ検査	幻覚剤検査	ベンゾジアゼピンスクリーニング	バルビツール酸スクリーニング	三・四環系抗うつ薬スクリーニング	農業スクリーニング	スクリーニング以外の検査項目	
規制薬・医薬品	覚せい剤*1	アンフェタミン, メタンフェタミン(ヒロポン)	●	●	●									
	麻	アヘンアルカロイド系麻薬*2	コデイン, モルヒネ, 6-アセチルモルヒネ	●	●	●								
		コカアルカロイド系麻薬*2	コカイン, ベンゾイルエクゴニン(コカイン代謝物)	●	●		●							
	薬	幻覚剤*2	MDA(メチレンジオキシアンフェタミン), MDEA(メチレンジオキシエチルアンフェタミン), MDMA(メチレンジオキシメタンフェタミン), フェンシクリジン	●	●				●					
		大麻・マリファナ	THCカルボン酸体 (11-ノル- Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール-9-カルボン酸体)	●	●			●						
	薬	ベンゾジアゼピン類	クロナゼパム*2, ニトラゼパム*2, ジアゼパム*2, デスマチルジアゼパム(ジアゼパム代謝物)*2, クロバザム*2, デスマチルクロバザム(クロバザム代謝物), クロチアゼパム*2, フルニトラゼパム*2, ミダゾラム*2, エスタゾラム*2, アルプラゾラム*2, プロチゾラム*2, エチゾラム*2, トリアゾラム*2, ニメダゼパム*2, プロマゼパム*2							●				
		バルビツール酸類	フェノバルビタール*2, アモバルビタール*2, ペントバルビタール*2, セコバルビタール*2								●			
		三環系抗うつ薬	アミトリプチリン, ノルトリプチリン, イミプラミン, デンπραミン(イミプラミン代謝物), トリミプラミン, クロミプラミン, ノルクロミプラミン(クロミプラミン代謝物), アモキサピン, ドスレピン									●		
	品	四環系抗うつ薬	ミアンセリン, セチプチリン, マプロチリン									●		
		フェノチアジン類(抗うつ薬以外)	プロメタジン, クロルプロマジン, レボメプロマジン											●
有機リン系農薬		スミチオン(MEP), マラチオン, CYAP, エチルチオメトン, EPN, ダイアジノン, MPP, メチダチオン, イソキサチオン, ピリミホスメチル, DDVP, トリクロルフォン										●		
農薬	トリアジン系農薬	メトリブジン, シマジン(CAT)										●		
	カーバメート系農薬	フェノプカルブ, カルバリル, メソミル										●		
	アニリン系農薬	アラクロール, プロパニル										●		
	ピレスロイド剤	フェンバレレート, シベルメトリン, ペルメトリン										●		
	ジピリジリウム系農薬	パラコート*3											●	

薬毒物

- 【ご注意】
- 規制薬物検査においては、まずEMIT法にてスクリーニングを行います（スクリーニング陰性の場合、その旨ご報告します）。スクリーニング検査で陰性が確定しない場合、LC-MS/MSにて確認後、ご報告します。
 - 「農業スクリーニング」検査にてスクリーニング対象外の農業曝露の可能性が示唆された場合、その農業名をご報告します。

*1：「覚せい剤取締法」の規制対象薬物
 *2：「麻薬及び向精神薬取締法」の規制対象薬物
 *3：パラコートは、個別の定量分析として実施（「農業スクリーニング」対象外）